ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム
取扱説明書

静岡県　文化・観光部　観光局　観光振興課

制作受託者　株式会社東海建設コンサルタント

目次

1　ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステムの概要 …… 1
2　システムの起動 …… 2
　2.1　エクセルのバージョンが 2007 以前の場合 …… 2
　2.2　エクセルのバージョンが 2007 以降の場合 …… 3
3　システムのツールバー …… 4
4　経路計算フォーム …… 4
5　道路等の種類 …… 5
6　操作方法 …… 6
　6.1　経路の選択 …… 6
　6.2　経路選択の解除 …… 9
7　経路計算フォーム …… 11
　7.1　経路計算フォームを隠す …… 11
　7.2　経路計算フォームの再表示 …… 11
8　エリアへのスクロール …… 12
9　市街地拡大図 …… 12
　9.1　市街地拡大図へのスクロール …… 12
　9.2　市街地拡大図からのスクロール …… 12
10　主要ルート …… 13
　10.1　主要ルートとは …… 13
　10.2　主要ルートの選択 …… 13
　10.3　主要ルートの選択解除 …… 13
11　経路印刷 …… 14
12　経路記録 …… 15
　12.1　経路の記録 …… 15
　12.2　経路記録の印刷 …… 16
　12.3　経路選択画面に戻る …… 16
13　システムの終了 …… 17
　13.1　エクセルのバージョンが 2007 以前の場合 …… 17
　13.2　エクセルのバージョンが 2007 の場合 …… 18

補足資料　マクロのセキュリティを変更する …… 19
　補足-1　　エクセルのバージョンが 2007 以前の場合 …… 19
　補足-2　　エクセルのバージョンが 2007 の場合 …… 20

注:
本取扱説明書中の地図等は開発中のものであり、実際の「ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム」の画面とは異なる場合があります。

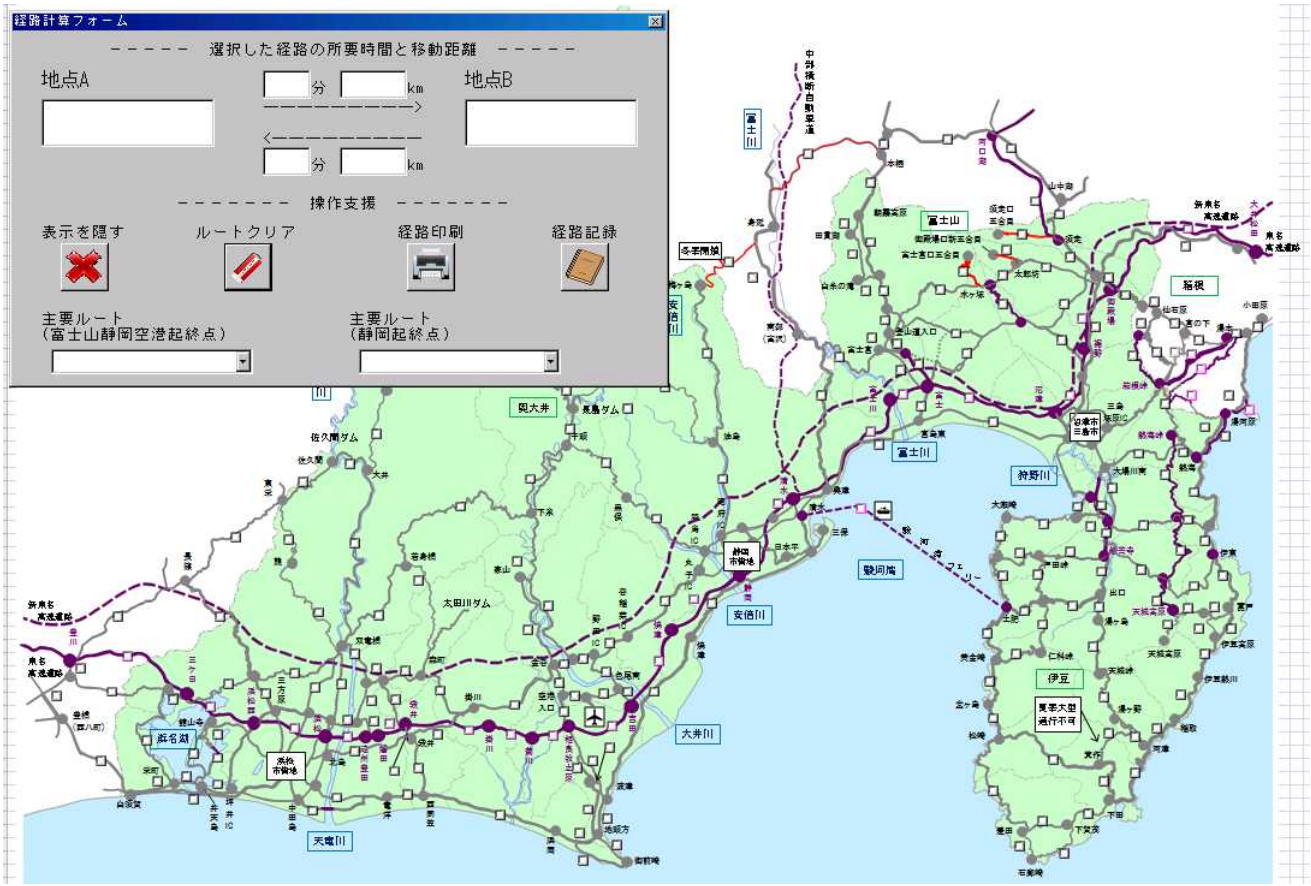
1　ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステムの概要

観光および旅行の際に、自動車で移動する概算時間を把握することは、計画を立てる際に重要な観点のひとつです。移動に掛かる概算時間の把握ができなければ、出発する時間、観光できる時間等を決定することが困難になります。

そこで、「ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム」(以下、「システム」といいます。) を開発しました。このシステムは、静岡県内の高速道路や主な道路を利用し、ある地点からある地点までの移動の所要時間およびその距離を表示するためのシステムです。

なお、所要時間およびその距離は実際にその道路を自動車で走行して実測を行いました。実測の際の走行方法は、交通の流れに沿った方法です。この所要時間には、実際に走行している時間の他、一時停止、信号待ち、交通渋滞による停車時間が含まれています。

このシステムは、多くのパソコンにインストールされているマイクロソフト社の Microsoft Excel(以下、「エクセル」といいます。) およびマクロ機能を使用して作成しています。



ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム　起動後画面

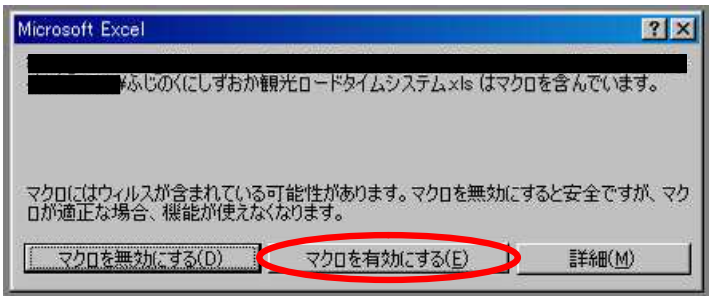
2　システムの起動

ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム.XLS のファイルを開きます。

2.1　エクセルのバージョンが 2007 以前の場合

ファイルを開いてシステムを起動すると、以下の画面が表示されますので、「マクロを有効にする」を選択します。

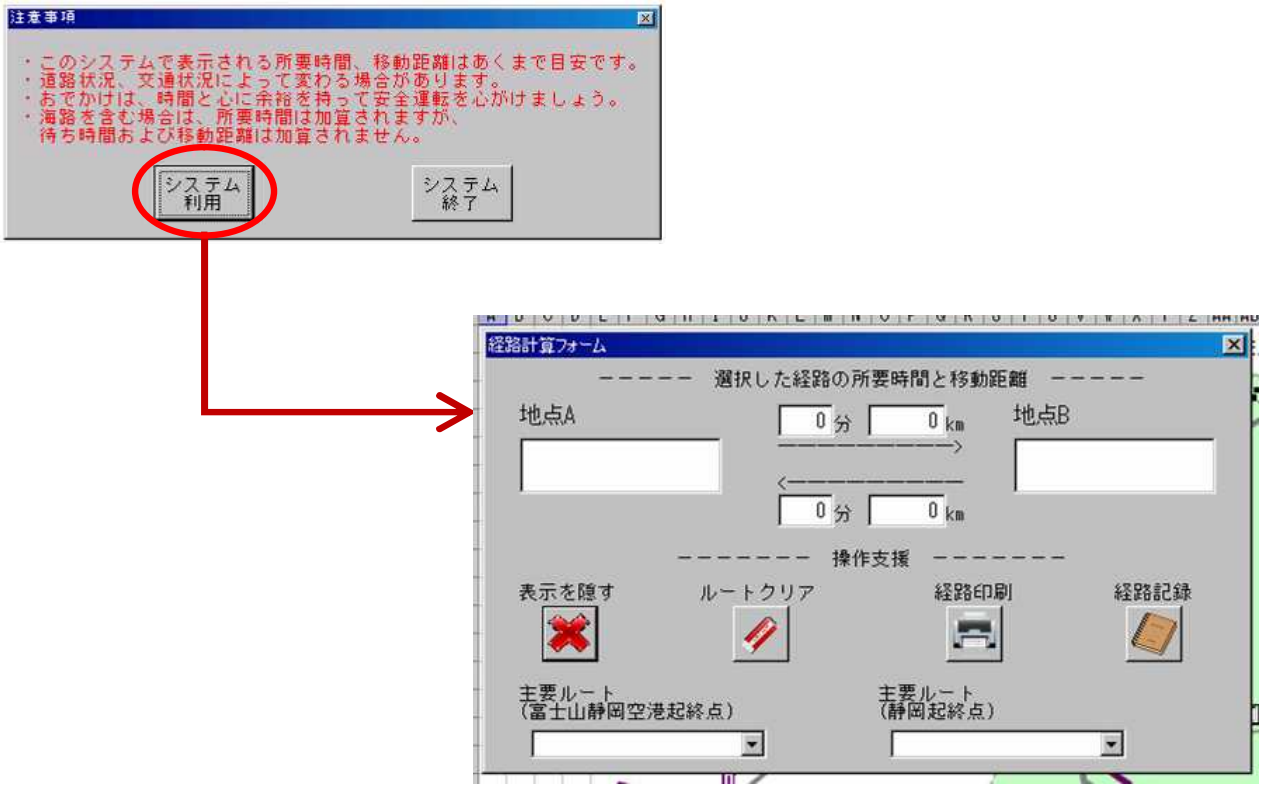
この画面が表示されない場合は、マクロを実行できない設定になっている、または、どんなマクロも実行する設定になっていますので、「補足資料　マクロのセキュリティを変更する」を参照して下さい。



システムが正常に起動すると、注意事項を記載したフォームが表示されます。

ここで「システム利用」を選択すると、システムの操作をまとめたツールバーが表示され、「経路計算フォーム」とタイトルの付いたフォームが表示されます。ツールバーは「3　システムのツールバー」、経路計算フォームについては「4　経路計算フォーム」に詳細を示します。

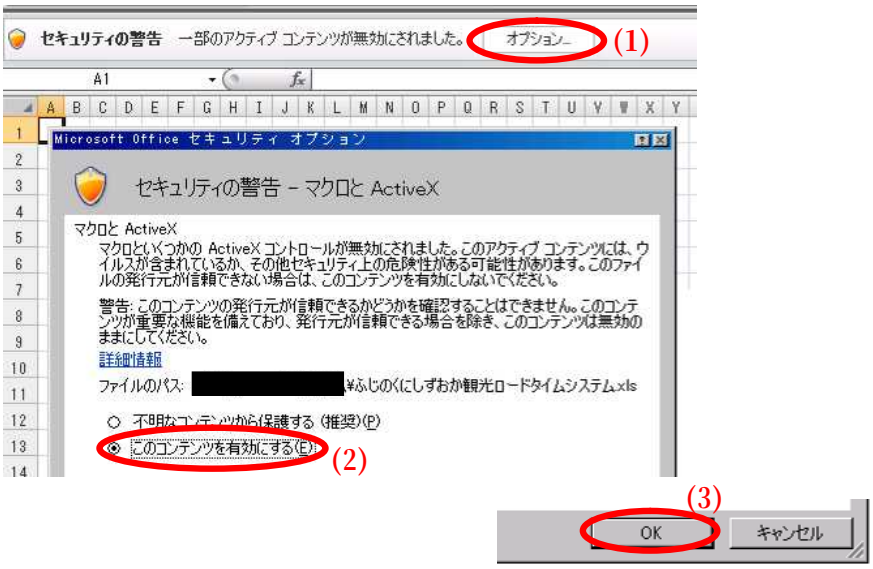
なお、「システム終了」を選択すると、ファイルを閉じます。



2.2　エクセルのバージョンが 2007 以降の場合

ファイルを開いてシステムを起動すると、以下の警告が表示されますので、「オプション」を選択し、表示される画面から「このコンテンツを有効にする」を選択し、「OK」を押します。

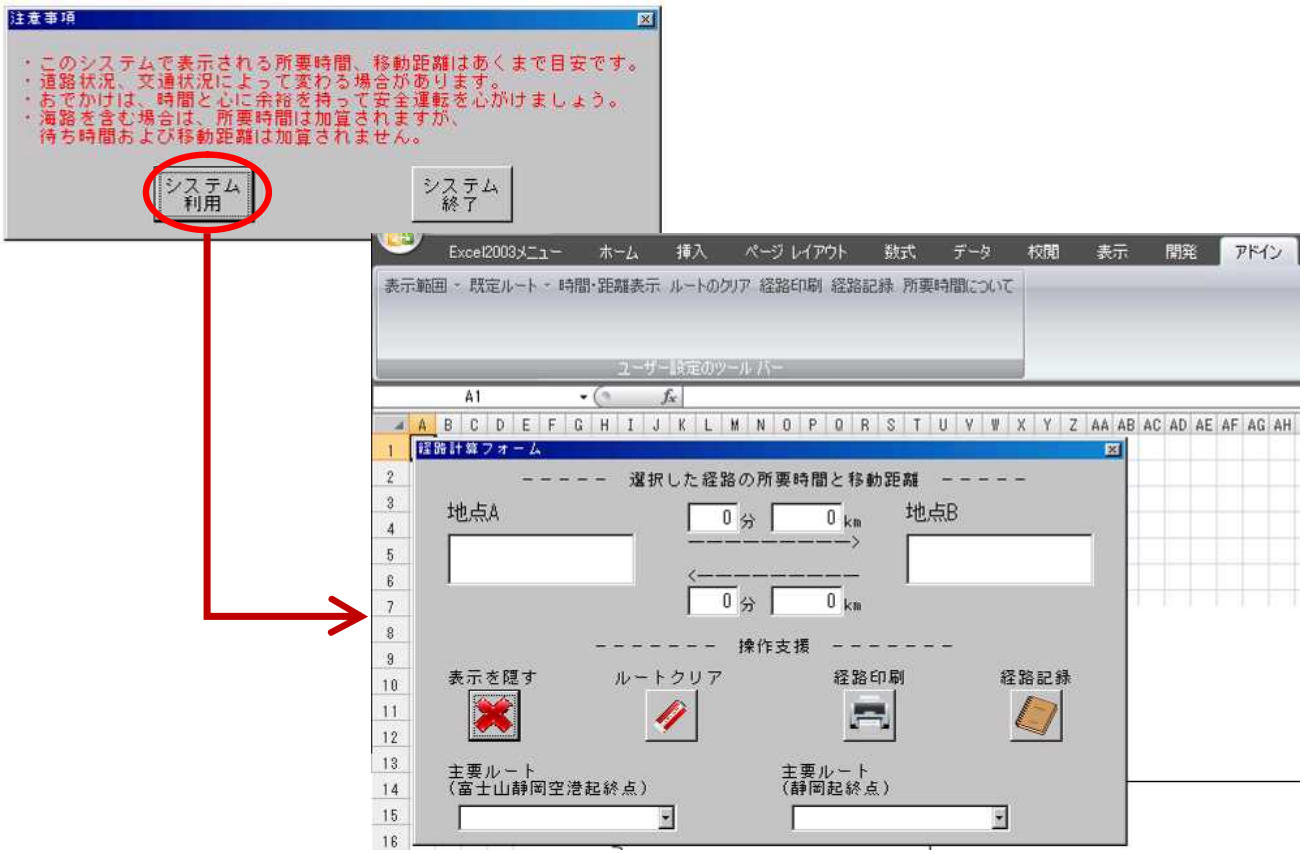
なお、この警告が表示されない場合は、マクロを実行できない設定になっていますので、「補足資料　マクロのセキュリティを変更する」を参照して下さい。



システムが正常に起動すると、注意事項を記載したフォームが表示されます。

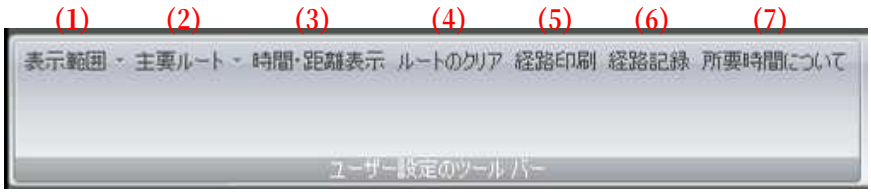
ここで「システム利用」を選択すると、システムの操作をまとめたリボンが「アドイン」として表示され、「経路計算フォーム」とタイトルの付いたフォームが表示されます。アドインは「3　システムのツールバー」、経路計算フォームについては「4　経路計算フォーム」に詳細を示します。

なお、「システム終了」を選択すると、ファイルを閉じます。



3　システムのツールバー

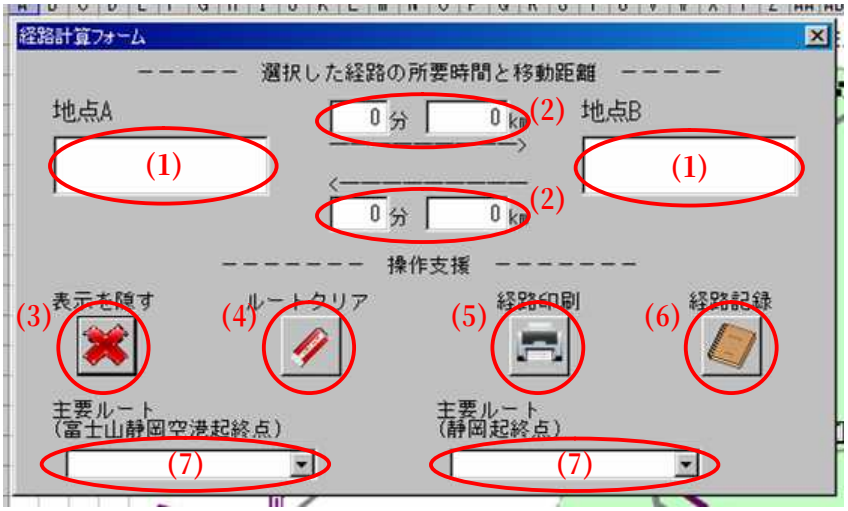
画面上部に表示されるツールバー(またはアドインリボン)のそれぞれの機能は、以下に示すとおりです(画面は、エクセル 2007 のものです)。



番号	機能
(1)	表示範囲を移動します。詳細は、「8　エリアへのスクロール」および「9　市街地拡大図」に示します。
(2)	主要なルートを選択します。詳細は、「10　主要ルート」に示します。
(3)	経路計算フォームを表示します。詳細は、「4　経路計算フォーム」に示します。
(4)	経路の選択を全て解除します。
(5)	印刷プレビューを表示します。
(6)	経路計算フォームで表示した結果を、別のシートに書き出します。
(7)	所要時間の集計方法の詳細を表示します。

4　経路計算フォーム

経路計算フォームのそれぞれの表示内容は、以下に示すとおりです。



番号	表示内容
(1)	選択したルートの始点または終点の地名を表示します。
(2)	地点 A～地点 B 間の所要時間および移動距離を表示します。
(3)	システムのフォームを一時的に非表示にします。
(4)	経路の選択を全て解除します。
(5)	印刷プレビューを表示します。
(6)	経路計算フォームで表示した結果を、別のシートに書き出します。
(7)	富士山静岡空港または静岡駅を起終点として、あらかじめ設定したルートを選択します。詳細は、「10　主要ルート」に示します。

5　道路等の種類

システムで表示されている道路等の種類は、以下に示すとおりです。

記号	道路等の種類
●	有料道路 IC
━━	有料道路区間
●	主要交差点、IC 等
━━	国道、県道
┅┅	航路
╍╍	建設中路線
━━	冬季通行不可

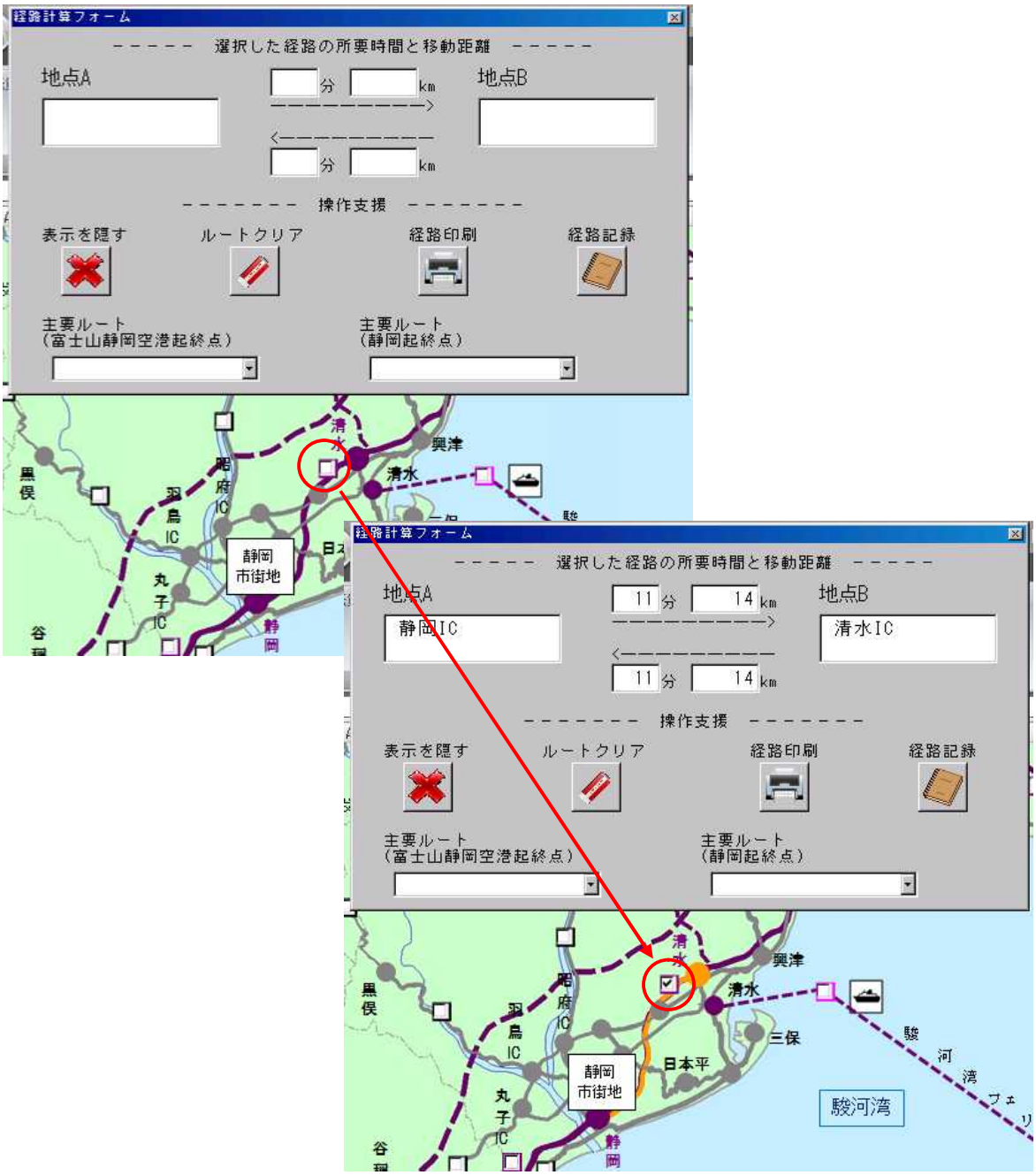
また、システムは道路の走りやすさを 3 段階で表示しており、以下に示すとおりです。

表示	道路の走りやすさ
━━	走りやすい道路
↕	
───	走りにくい道路

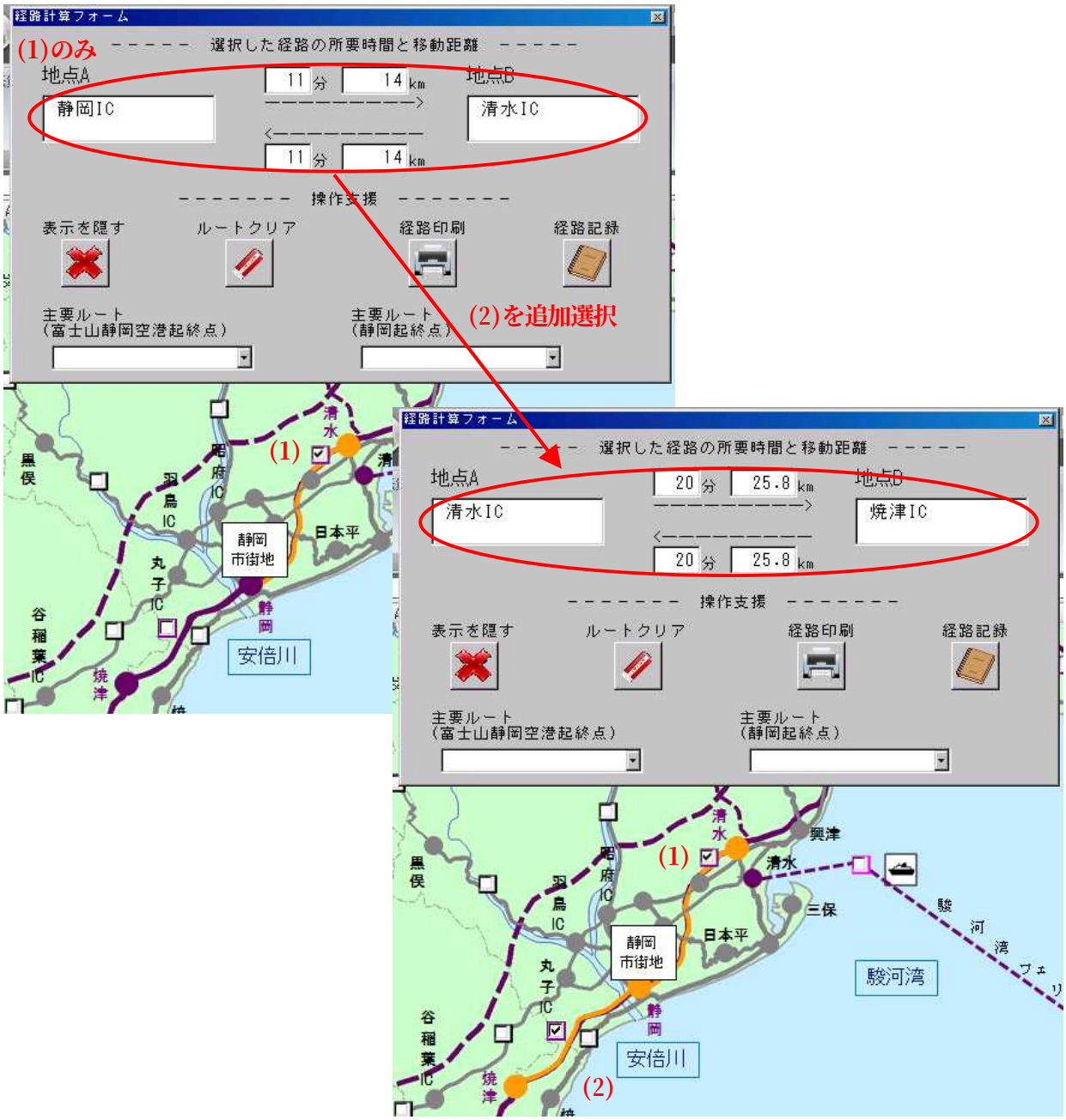
6　操作方法

6.1　経路の選択

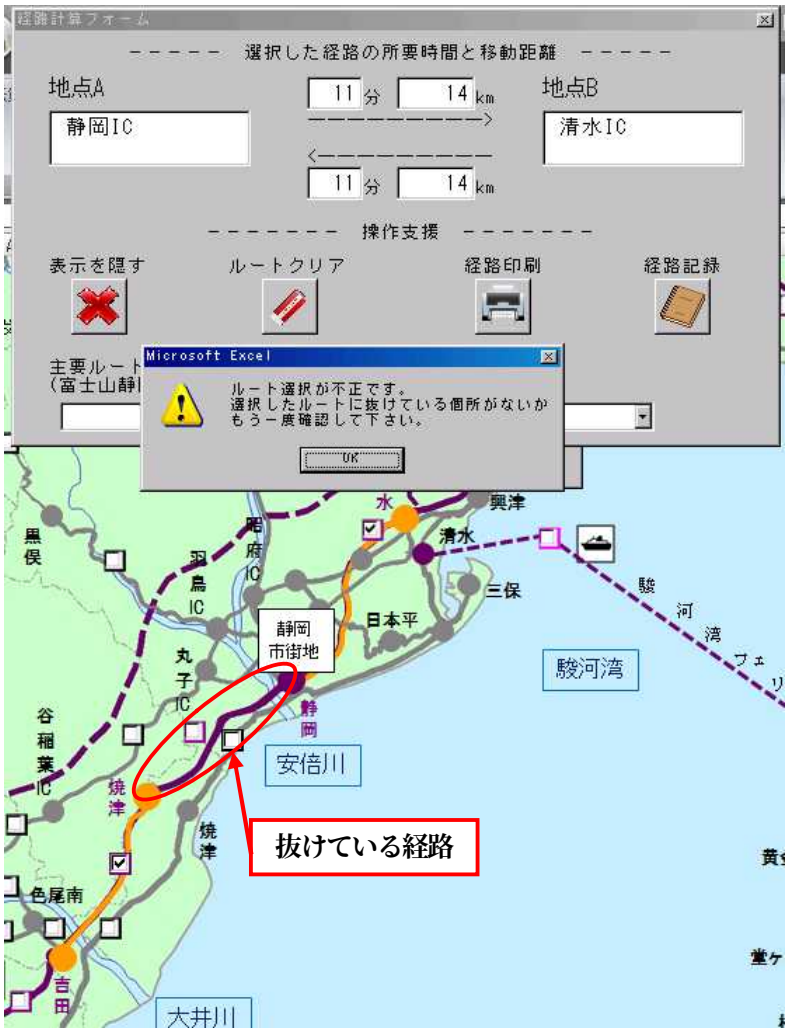
経路の選択方法は、システムの地図にあらかじめ配置してあるチェックボックスをオンにします。所要時間および移動距離を知りたい区間にあるチェックボックスをクリックし、レ点の付いた状態(オン)にすると、選択した区間の色が変わり、所要時間等が表示されます。



また、連続する道路のチェックボックスをオンにしていくと、所要時間等が随時更新されます。



なお、選択した経路に抜けている区間があると、以下のエラーメッセージが表示されますので、抜けている経路を選択して下さい。



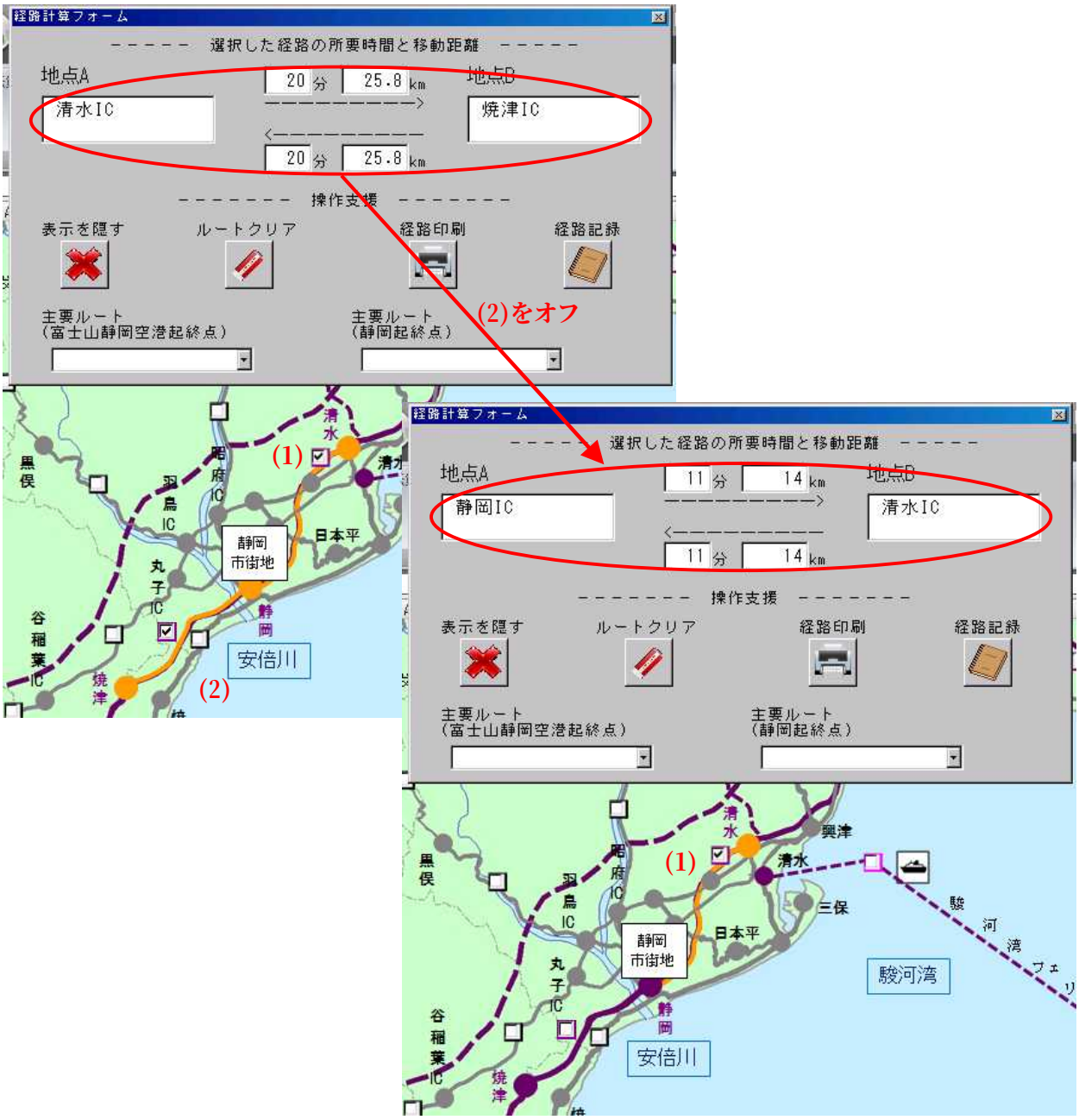
6.2　経路選択の解除

選択した経路の解除の方法は、2 通りあります。

(1)　選択経路を 1 区間ずつ解除する

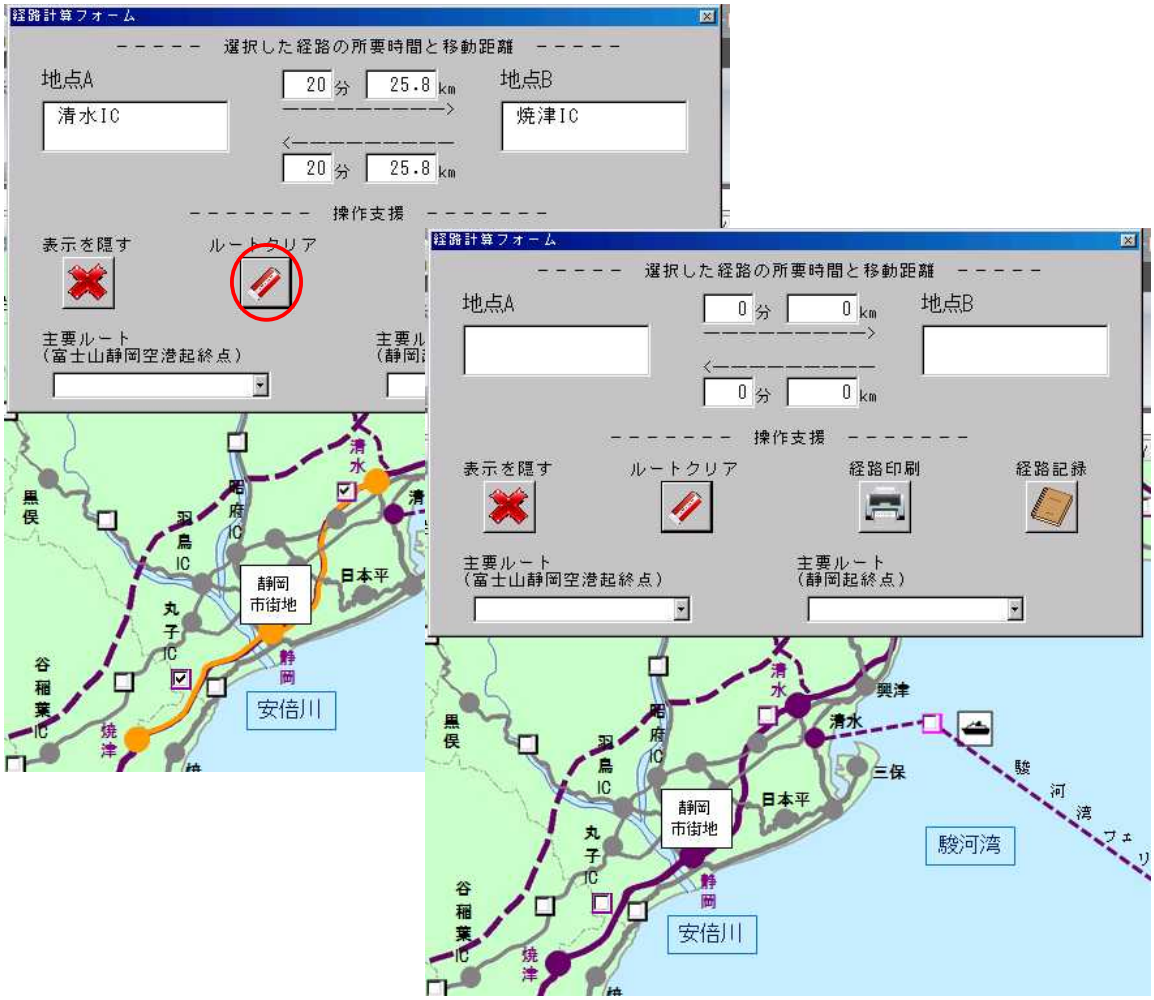
選択経路を 1 区間ずつ解除する方法は、システムの地図にあらかじめ配置してあるチェックボックスをオフにします。選択した区間にあるチェックボックスをクリックし、レ点の消えた状態(オフ)にすると、選択を解除した区間の色が元に戻り、所要時間等が更新されます。

なお、この時に選択した区間の途中を解除すると、エラーメッセージ(前ページ参照)が表示されますので、端の方から解除して下さい。



(2)　選択経路を全て解除する

経路計算フォームの「ルートクリア」ボタンをクリックすると、選択した経路を全て解除することができます。なお、ツールバー(またはアドインリボン)の「ルートのクリア」を押しても同じ操作になります。

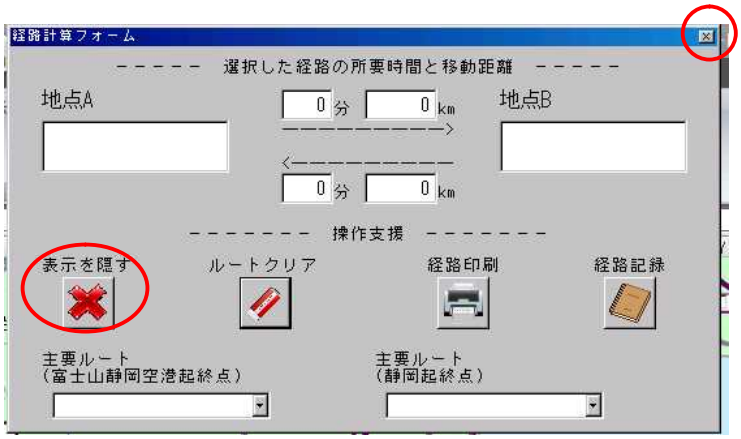


7　経路計算フォーム

7.1　経路計算フォームを隠す

経路計算フォームは経路の選択時等には邪魔になることがあります。そのため、このフォームを一時的に隠すことができます。

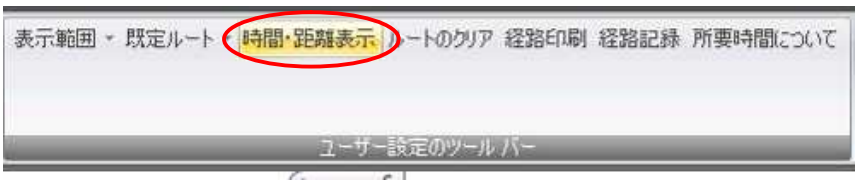
経路計算フォームを隠す方法は、このフォームに配置されている「表示を隠す」ボタンまたはフォームの右上に表示されている「×」をクリックします。



7.2　経路計算フォームの再表示

一度隠した経路計算フォームを再表示する方法は、3 通りあります。

(1)　ツールバー(またはアドインリボン)の「時間・距離表示」を選択



(2)　経路の選択または経路の選択解除

経路選択が更新されると、経路計算結果を再度表示します。

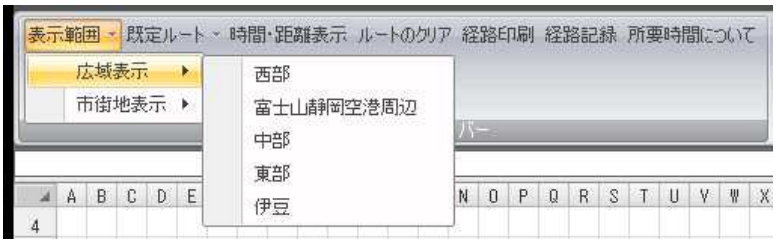
(3)　全体図をクリック

クリックする場所は、静岡県全域を示している地図画像(全体図)のどこでも構いません。

8　エリアへのスクロール

システム上の地図画像は、エクセルの画面右側および下側のスクロールバーでの表示範囲のスクロールを基本としていますが、「西部」、「富士山静岡空港周辺」、「中部」、「東部」および「伊豆」については、ツールバーまたはアドインリボンからのスクロールを選択することも可能です。

全体図を表示するには、ツールバー(またはアドインリボン)の「表示範囲」-「広域表示」から表示させたい範囲を選択します。

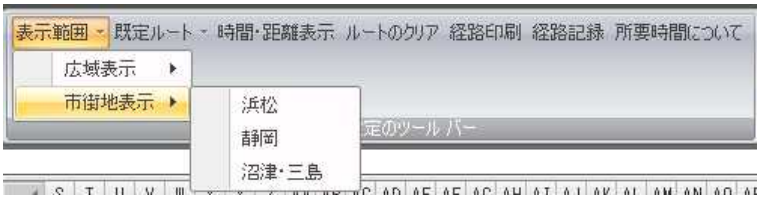


9　市街地拡大図

9.1　市街地拡大図へのスクロール

「浜松」、「静岡」および「沼津・三島」については、市街地拡大図から経路の選択が可能です。市街地拡大図へスクロールする方法は、2 通りあります。

(1)　ツールバー(またはアドインリボン)の「表示範囲」-「市街地表示」から選択



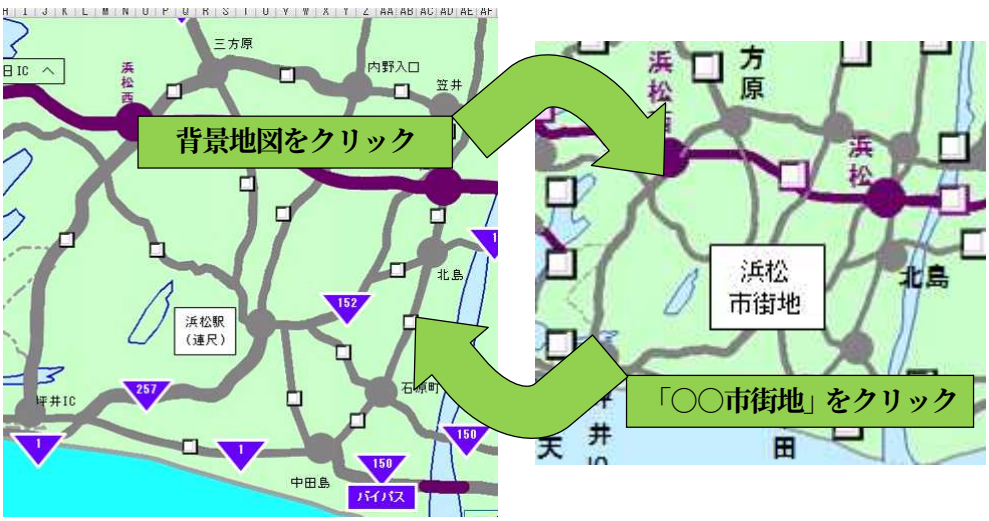
(2)　全体図に表示されている「浜松市街地」、「静岡市街地」および「沼津市・三島市」を選択

9.2　市街地拡大図からのスクロール

市街地拡大図から全体図に戻る方法は、2 通りあります。なお、(2)の方法で戻った場合には拡大表示をしていた市街地を中心とした全体図を表示します。

(1)　ツールバー(またはアドインリボン)の「表示範囲」-「広域表示」から表示する範囲を選択

(2)　背景の地図をクリック



10 主要ルート

10.1 主要ルートとは

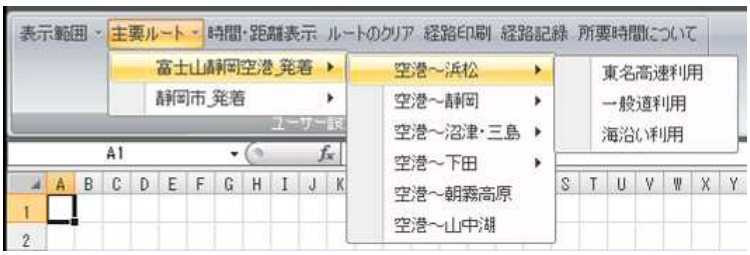
システムには、利用が多いと考えられる地点等について、テンプレートとなるルートを設定してあります。主要ルートとして設定したのは、「富士山静岡空港発着」の浜松、静岡、沼津・三島、下田、朝霧高原および山中湖、「静岡発着」の浜松、佐久間、朝霧高原、山中湖、沼津・三島および下田です。

なお、「富士山静岡空港発着」の浜松、静岡、沼津・三島については「東名高速利用」、「一般道利用」、「海沿い利用」の 3 パターン、下田については「東名高速利用」、「一般道利用」、「フェリー利用」の 3 パターンを設定しました。

10.2 主要ルートの選択

主要ルートの選択方法は、2 通りあります。なお、主要ルートの選択後に、選択した主要ルートからつながる経路の追加選択および選択解除をすることが可能です。

(1)　ツールバー(またはアドインリボン)から選択



(2)　経路計算フォームから選択

10.3 主要ルートの選択解除

主要ルートの選択解除方法は、「6.2　経路選択の解除」と同じです。

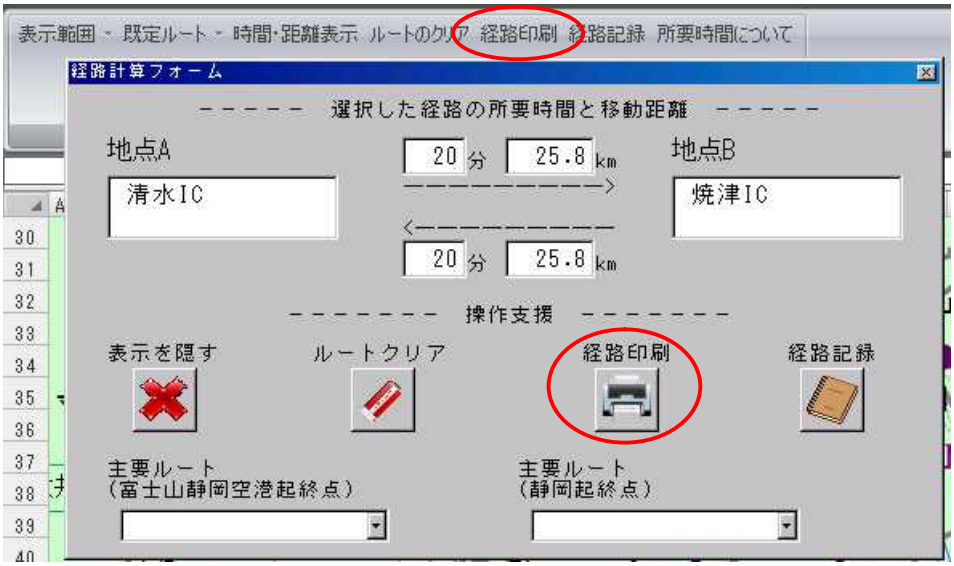
11 経路印刷

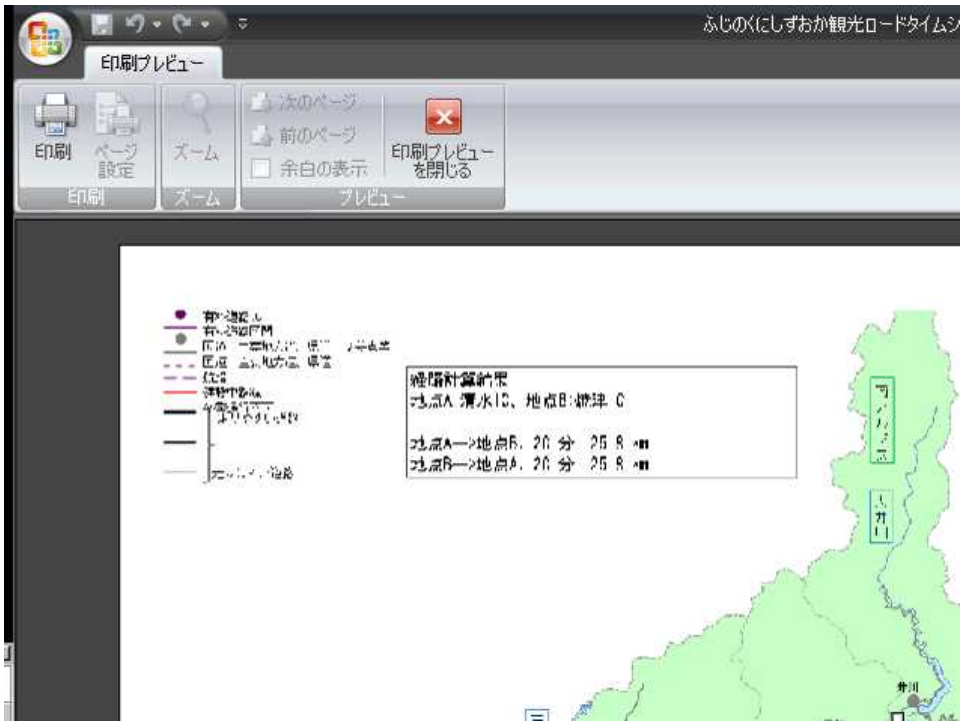
システムは、選択した経路を印刷することが可能です。

印刷の対象は、全体図、起終点名およびその間の所要時間と移動距離を示したテキスト、用紙サイズはA4、紙の向きは横です。

経路の印刷は、ツールバー(またはアドインリボン)の「経路印刷」または経路計算フォームの「経路印刷」ボタンを押すと、ボタンを押したときに選択されている経路の印刷プレビュー画面になります。

なお、プリンターのインストール方法は、お手持ちのプリンターのマニュアルに従って下さい。





12 経路記録

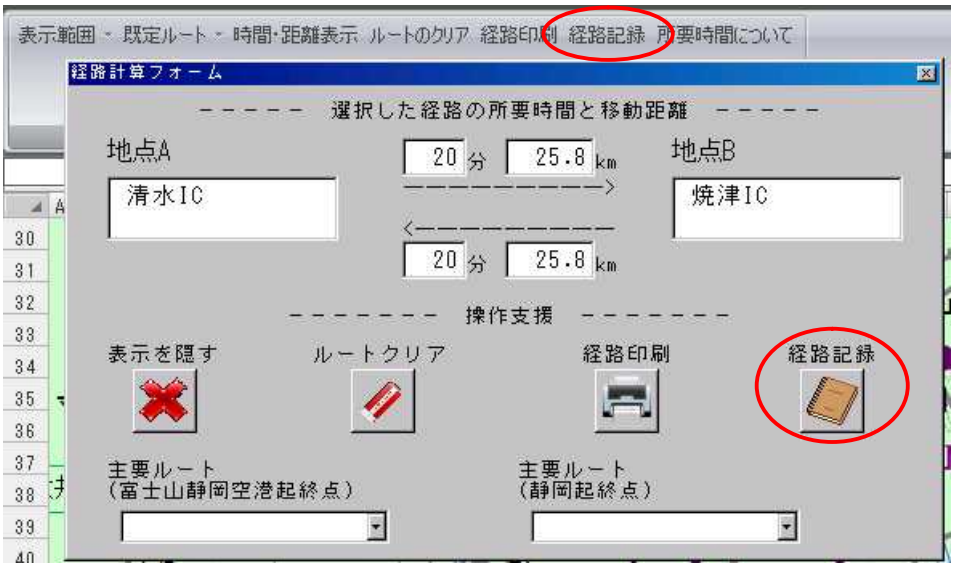
12.1 経路の記録

システムは、経路の選択結果を記録することが可能です。

記録の対象は、起終点名およびその間の所要時間と移動距離です。選択した経路(チェックボックスをオンにしたもの)の記録はできません。

経路の記録は、ツールバー(またはアドインリボン)の「経路記録」または経路計算フォームの「経路記録」ボタンを押すと、ボタンを押したときに選択されている経路を、「経路記録」シートに書き出します。

経路を記録すると、確認のために「経路記録」シートが表示され、「経路計算フォーム」が非表示になります。



No.	地点A	地点B	移動距離 (km)	所要時間 (A->B、分)	所要時間 (B->A、分)
1	静岡IC	朝霧高原	66.9	67	67
2	静岡IC	山中湖	98.3	90	91
3	静岡IC	下田	142.4	175	176
4	清水IC	焼津IC	25.8	20	20

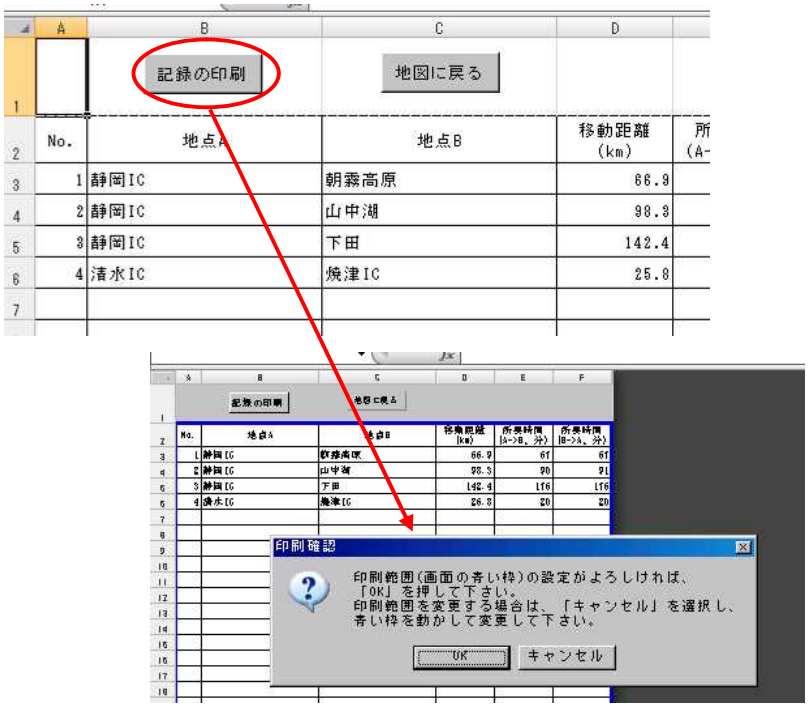
12.2 経路記録の印刷

書き出した経路の記録は、「記録の印刷」ボタンを押すと印刷が可能です。

印刷の対象は罫線の付いた表、用紙サイズは A4、紙の向きは縦です。初期状態では A4 サイズ 1 枚分の範囲を印刷範囲として設定しています。

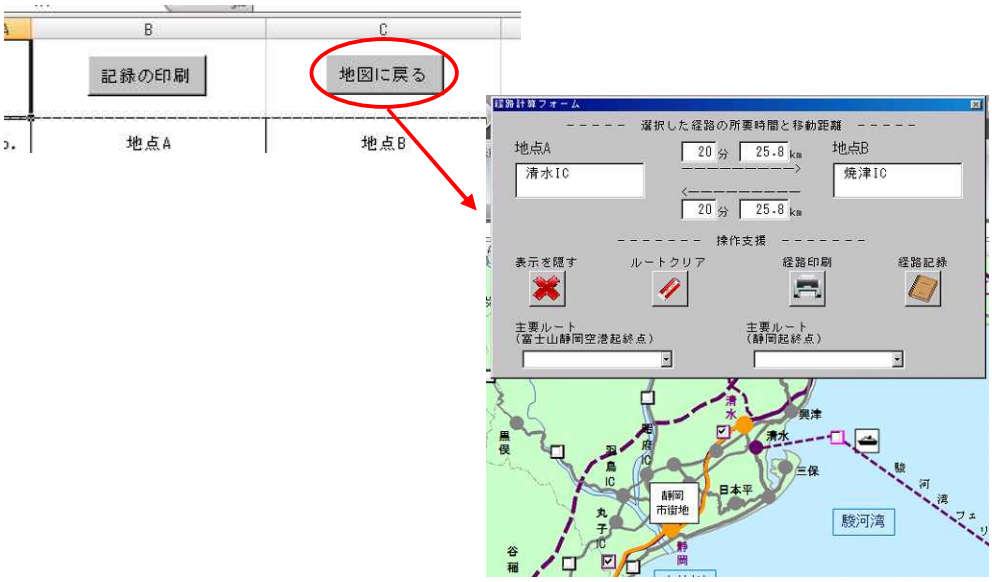
「記録の印刷」を押すと、改ページプレビュー画面に切り替わりますので、印刷範囲の設定を確認して下さい。印刷範囲の変更は、「キャンセル」を選択し、青い枠を移動することで変更し、再度「記録の印刷」を押します。「OK」を押すと、印刷プレビュー画面になります。

なお、プリンターのインストール方法は、お手持ちのプリンターのマニュアルに従って下さい。



12.3 経路選択画面に戻る

「経路記録」シートでの操作等が終了したら、「地図に戻る」ボタンを押すと、経路選択画面に戻り、「経路計算フォーム」が表示されます。なお、この時に戻る画面は、「経路記録」を押す前の経路選択画面です。

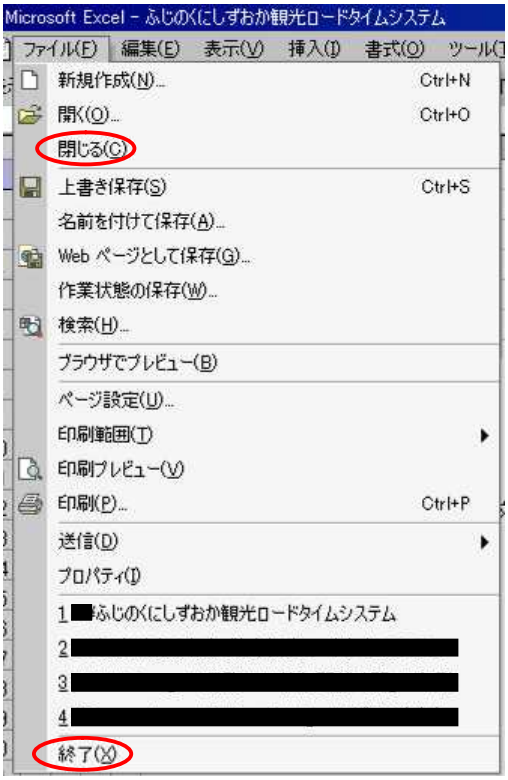


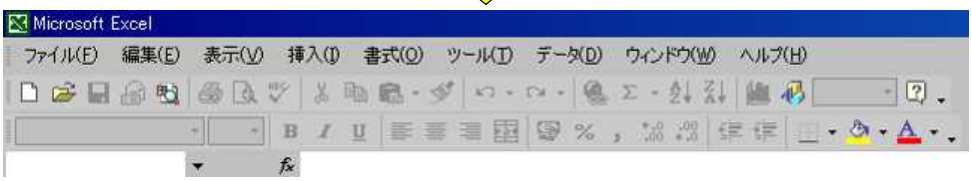
13 システムの終了

13.1 エクセルのバージョンが 2007 以前の場合

システムの終了は、普通のエクセルファイル同様、「ファイル」-「閉じる」または「ファイル」-「終了」を選択して下さい(ウィンドウの「×」ボタンを押しても同様です。)。

システムを終了すると、システムの操作をまとめたツールバーが終了し、「標準」および「書式設定」ツールバーが表示されます。

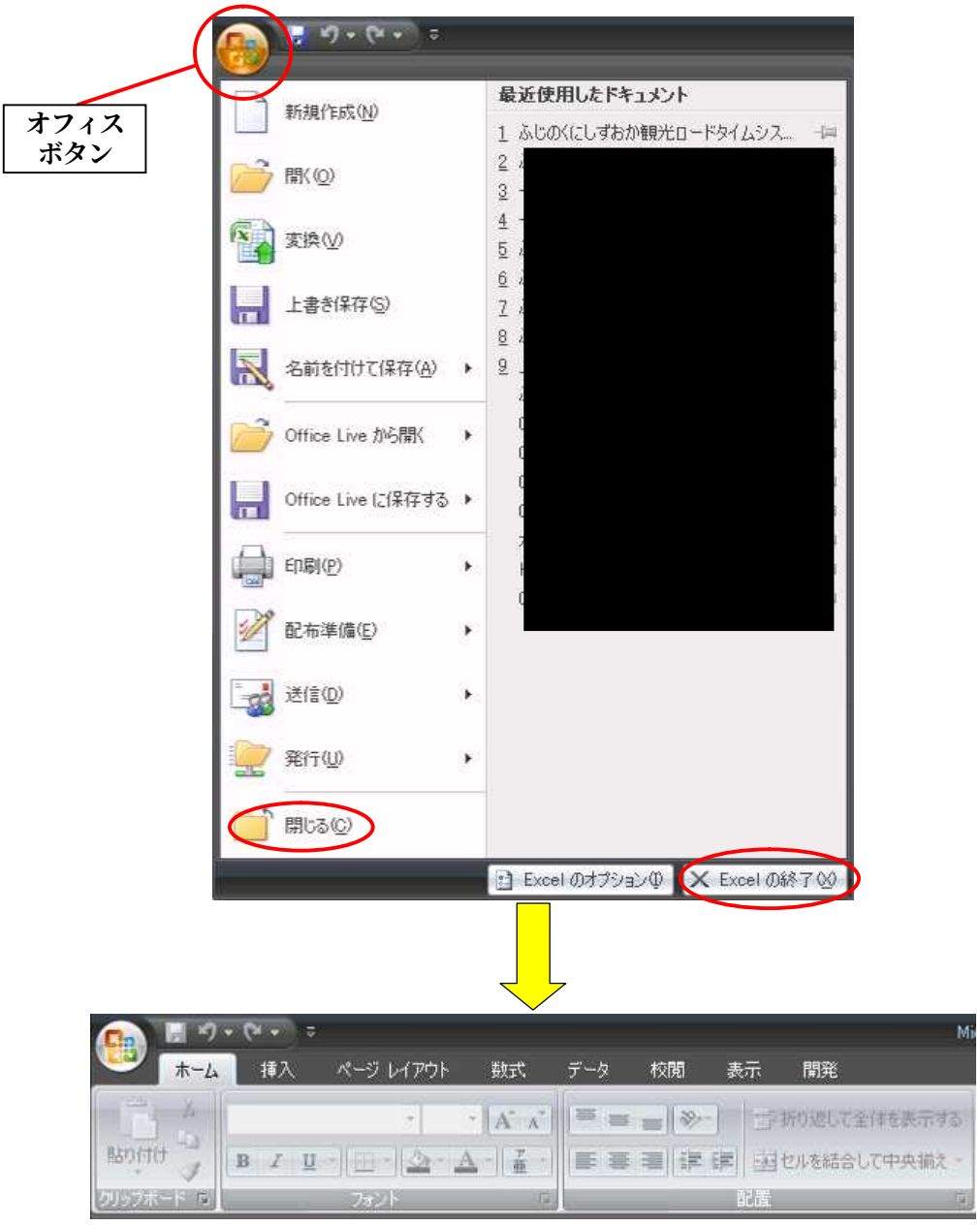




13.2 エクセルのバージョンが 2007 の場合

システムの終了は、普通のエクセルファイル同様、「オフィスボタン」-「閉じる」または「オフィスボタン」-「Excel の終了」を選択して下さい(ウィンドウの「×」ボタンを押しても同様です。)。

システムを終了すると、システムの操作をまとめたアドインのリボンが非表示になります。



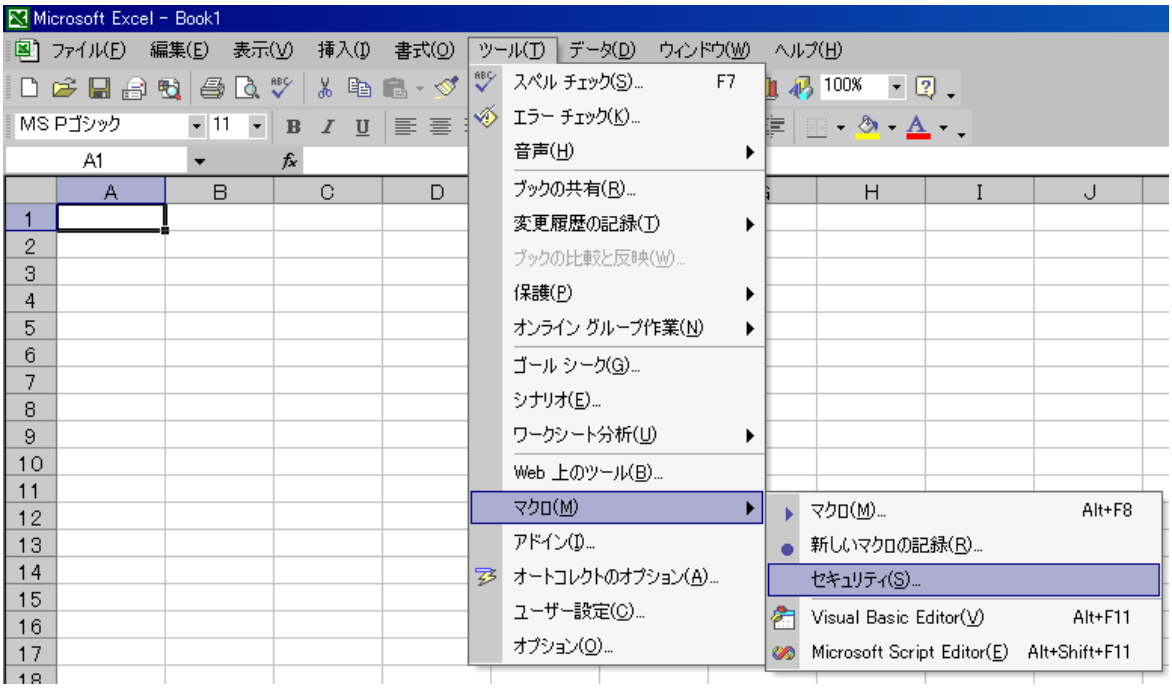
補足資料　マクロのセキュリティを変更する

補足-1　エクセルのバージョンが 2007 以前の場合

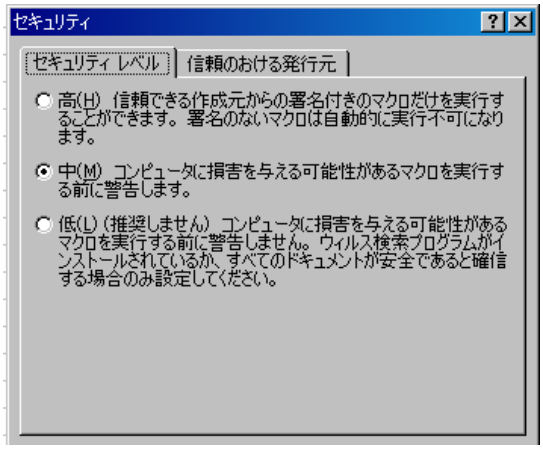
(1)　エクセルを起動後、メニューバーの「ツール」-「マクロ」-「セキュリティ」を選択します。(図補 1-1)

(2)　表示される「セキュリティ」画面のうち「セキュリティレベル」タブを選択し、「中」に変更します。(図補 1-2)

(3)　「OK」を選択し、エクセルを終了した後、再度「ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム.XLS」を開きます。



図補 1-1

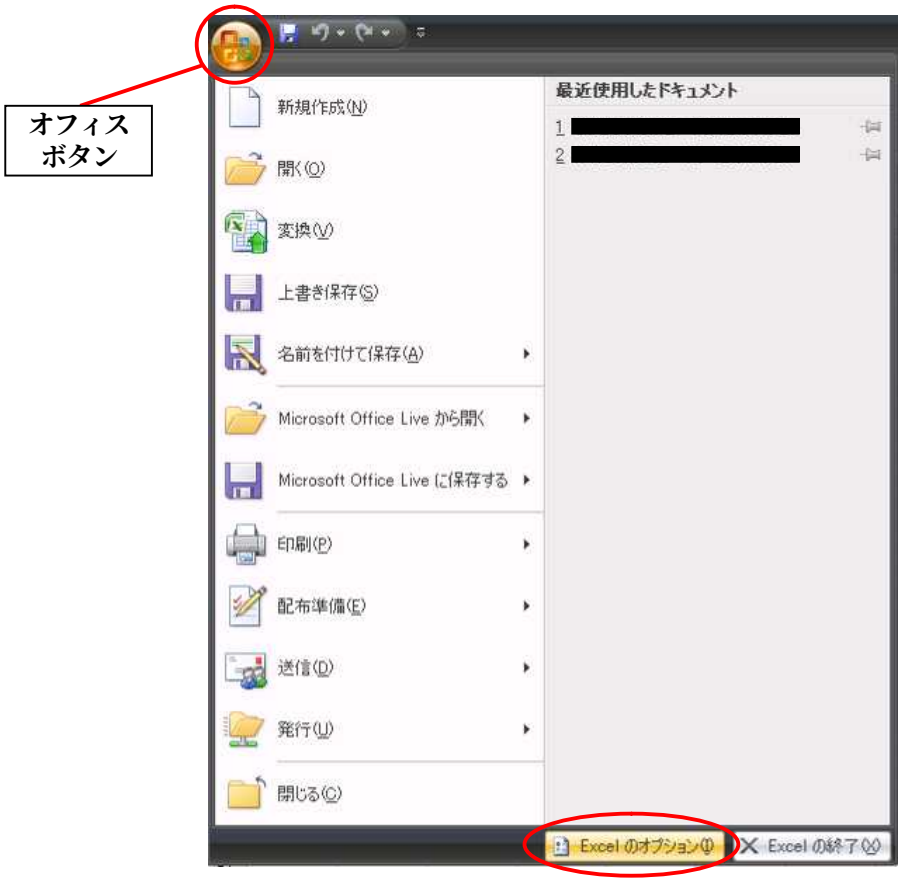


図補 1-2

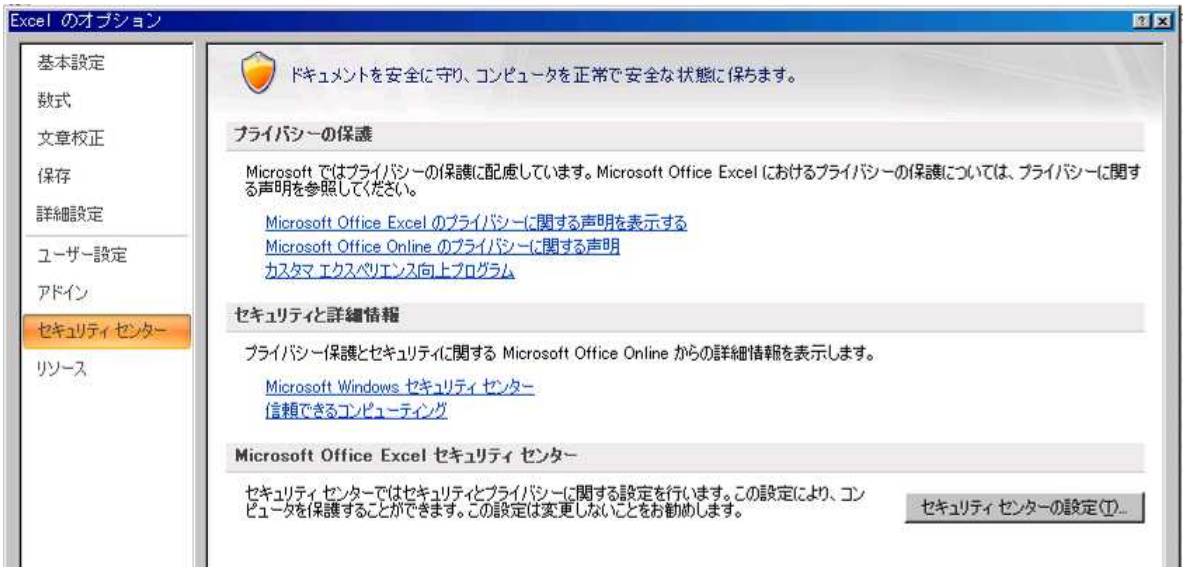
補足-2　エクセルのバージョンが 2007 の場合

(1)　エクセルを起動後、「オフィスボタン」-「Excel のオプション」を選択します。(図補 2-1)

(2)　表示される「Excel のオプション」画面のうち、左側の枠から「セキュリティーセンター」を選択し、右側の枠の「セキュリティーセンターの設定」を選択します。(図補 2-2)



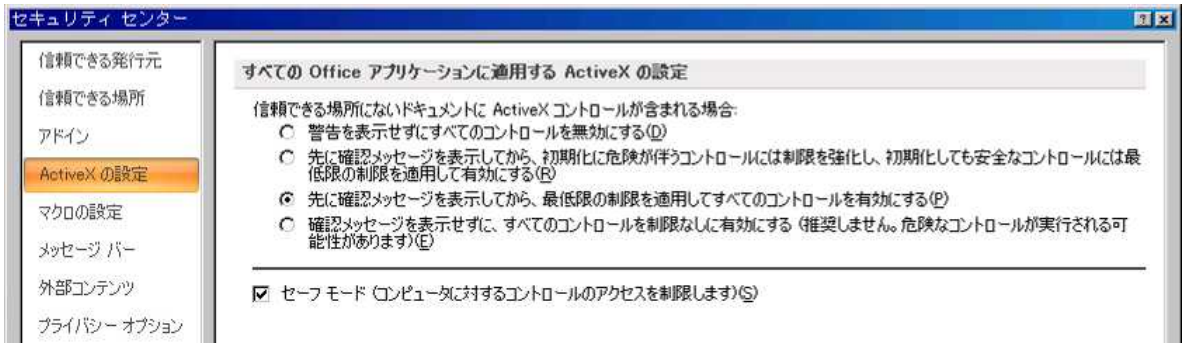
図補 2-1



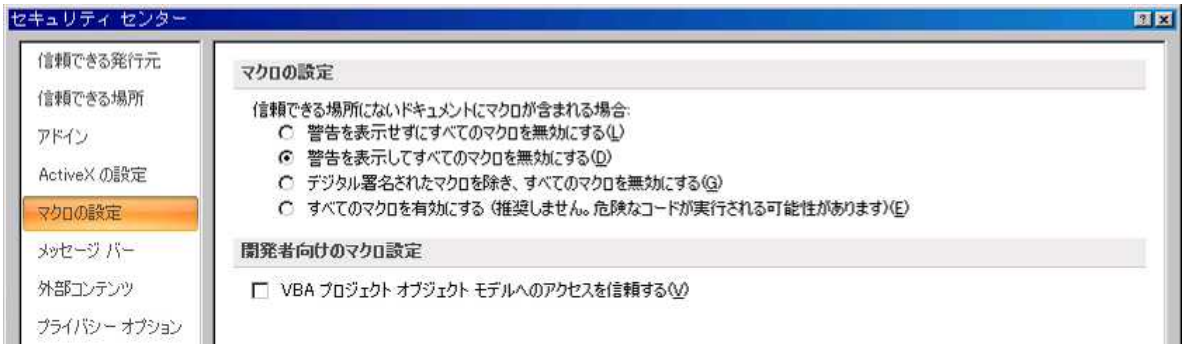
図補 2-2

(3) 表示される「セキュリティーセンター」のうち、左側の枠から「ActiveX の設定」を選択し、「先に～コントロールを有効にする」を選択します。(図補 2-3)

(4) 左側の枠から「マクロの設定」を選択し、「警告を表示して～無効にする」を選択します。(図補 2-4)



図補 2-3



図補 2-4

(5) 「OK」を 2 回選択し、「セキュリティーセンター」および「Excel のオプション」を終了し、エクセルを終了した後、再度「ふじのくにしずおか 観光ロードタイムシステム.XLS」を開きます。